

社会資本整備総合交付金工事に着工
関係者が安全を祈願



↑合図とともに礎石が投入され海面に水しぶきがあがる

12月17日、口之福浦港において、社会資本整備総合交付金工事、長島港（口之福浦地区）の起工式が行われました。

この工事は全体事業費、約7億2千万円で、同港に延長85メートルの防波堤や物揚場、浮桟橋などを、これから4年かけて整備します。

式には、川添健町長はじめ飯尾和喜雄、藤之元公民館長など約30人が参列しました。神事では川添健町長の合図で、沖合に停泊したクレーン船から礎石が投入されると同時に花火が揚げられ、安全祈願と起工を祝いました。

飯尾館長は「念願の港が整備されることが決まり嬉しい。地域の活性化につながってほしい」と話しました。